

総 会 議 題

議題 1 . 平成 21 年度事業報告

I . 総務会・渉外

総務会・渉外委員会

1. 担当理事 坪内 政義（専務理事・愛医）、宇野 彰男（北医）、北川 正路（慈恵）、
四方田 均（鶴歯）
2. 活動報告と年間目標の達成状況
 - 1) 各事業について、各担当委員会報告を参照のこと。
 - 2) 総会運営について
第 80 回総会の承認に基づき、理事会のもとで第 81 回総会の準備に着手した。総会
は平成 22 年 5 月 28 日（金）、分科会は 29 日（土）に日本歯科大学において開催する。
 - 3) 中央事務局運営体制について
第 80 回総会后、具体的な検討を行っていないが、地区会事務局連絡会議にて会員
の意向を聴取した。支持意見は専従と委託とに分かれ、この結果からは判断し難い。
ひとまず、第 81 回総会以降の事務局は従来の体制を継続する方向で検討している。
 - 4) 海外交流
 - (1) 韓国医学図書館協議会第 41 回秋季学術大会（平成 21 年 10 月 15 日～16 日、
江原道春川市）に河合理事が出席。診療ガイドライン支援事業について報告し
た。
 - (2) KMLA への文献複写提供実績 11 件
 - 5) 他機関交流
 - (1) 日本図書館協会健康情報委員会と合同で、鳥取県立図書館主催「図書館におけ
る医療・健康情報サービス提供のためのスキルアップ講座」（平成 22 年 1 月 13
日～14 日、鳥取県立図書館大研修室）のプログラム作成と研修講師を受託した。
 - 6) 会員の動向
 - (1) 入会と退会実績
 - ①入会
正会員 A なし
正会員 B 日本赤十字社医療センター図書室、国立ハンセン病資料館図書室
正会員 D 9 名
維持会員 1 機関(団体)
 - ②退会
正会員 A なし
正会員 B 埼玉県立小児医療センター図書室
正会員 D 6 名
維持会員 5 機関(団体)
維持会員 1 名（個人）
 - (2) 平成 22 年 3 月 31 日現在の会員数。
正会員 A 87 機関
正会員 B 43 機関
正会員 D 103 名
協力会員 1 機関
維持会員 24 機関（団体）
維持会員 3 名（個人）
 - 7) 寄付（助成金）

- (1) 丸善株式会社 10 万円
- (2) 株式会社紀伊國屋書店 10 万円
- 8) 評議員会の開催
 - (1) 定例評議員会
 - 日時：平成 21 年 7 月 6 日(月) 10:30～11:30
 - 場所：国立保健医療科学院 第 5 会議室
 - 議題：平成 21 年度議長選出、平成 22 年度役員選挙管理委員会の設置等
 - (2) 第 2 回評議員会
 - 日時：平成 21 年 10 月 29 日(木) 14:00～17:00
 - 場所：慶應義塾大学信濃町メディアセンター第 1 会議室
 - 議題：会長諮問事項（会長候補者の選出方法と会長職のあり方について）審議
- 9) 地区会事務局連絡会議の開催
 - (1) 平成 21 年度第 1 回地区会事務局連絡会議
 - 日時：平成 21 年 12 月 2 日(水) 13:00～16:30
 - 場所：野口英世記念会館 1 階分室
 - 議題：役員選挙及び会長職のあり方、総会運営、中央事務局運営体制、会員種別の見直し、協会事業、等
- 10) その他
 - (1) 資料の共同購入 図書館年鑑 40 冊 (640,000 円)
インセットテープ 12 回、13 回 162,000 本 計(129,465 円)
 - (2) NLM 複写依頼 2913 件 4,481,200 円
- 3. 今後の課題
上記のとおり、評議員会及び地区会事務局連絡会議に諮った事項が当面の協会の課題である。これらを中期重点事業（目標）と位置付ける。

Ⅱ. 企画・調査 企画・調査委員会

- 1. 委員
担当理事 大瀧 博久（島根）
委員長 青木 裕子（天理）
委員 伊藤 淑子（阪歯）、岸 友子（川崎）、土佐 智義（個人）、
山本 節子（関西）、吉富 啓子（近畿）
- 2. 活動報告と年間目標の達成状況
 - 1) 「第 80 次加盟館年次統計」の発行
計画どおり、完成版を 9 月に協会ホームページに掲載した。
希望者に簡易製本版を販売した。
 - 2) 「第 60 回重複雑誌交換事業」
データ提出 7 月 1 日～8 月 21 日、交換期間 11 月 9 日～12 月 11 日、報告書提出 1 月 8 日と、計画どおり実施した。
今回の結果は、総提出冊数 64,251 冊、総申込冊数 7,891 冊、総受領冊数 6,433 冊となった。
 - 3) 「要覧 2009」の発行
計画通り 9 月に発行し、協会ホームページに掲載した。
今回から原稿のデータを印刷所に渡す方式に改めて、経費の節減等をはかった。
 - 4) 委員会の開催

- 第1回 平成21年7月16日
第2回 平成21年12月18日
第3回 平成22年3月19日
3. 理事会での協議事項、承認事項
特記事項なし
4. 今後の課題
当委員会は実務作業が中心であり、負担の軽減が課題である。

Ⅲ. 機関誌「医学図書館」編集

「医学図書館」編集委員会

1. 委 員
担当理事 宇野 彰男（北医）
委 員 長 大谷 裕（東邦）
委 員 泉 峰子（科学院）、加藤 素子（鶴歯）、小林 晴子（愛医）、
齋藤 えりか（慈恵）、菅 修一（滋賀）、園原 麻里（慶應）、
鷹野 祐子（個人）、野田 久愛（東女）、渡辺 真希子（横浜）
協力委員 阿部 佐和子（福岡）、金子 賢一（埼玉）、黒木 和子（川崎）、
小林 克也（奥羽）、永岡 茂（札幌）、中越 晴彦（松歯）、
万波 涼子（名市）、山下 ユミ（京府）
2. 活動報告と年間目標の達成状況
活動報告
1) 機関誌発行
56巻2号～4号 発行済み
57巻1号（2010年3月発行）
2) 委員会の開催
第1回 2009年6月17日 慶應義塾大学信濃町メディアセンター
第2回 2009年10月7日 東京女子医科大学総合外来1階セミナー室
第3回 2009年12月3日 十一房印刷 水道町工場
第4回 2010年3月8日 十一房印刷 水道町工場
3) JST Journal@rchive 採択に伴う記事選定作業と冊子の収集
（2009年11月）
3. 理事会（総会）での協議事項、承認事項
なし
4. 今後の課題
任期満了に伴う委員の速やか交代及び引継ぎ体制の確立。

Ⅳ. 出版

出版委員会

1. 委 員
担当理事 宇野 彰男（北医）
委 員 長 浅井 将行（昭和）
委 員 石谷 真（東医）、宮明 秀幸（国医情）、村田 泰子（日医）、
山下 和美（防医）
2. 活動報告と年間目標の達成状況
1) 「電子ジャーナル所在目録（仮称）」2009 の刊行。

参加館の負担が少ない所蔵データ提出方法を検討し、委員所属機関でシミュレーションを行ったが、JMLA/JPLA 以外のコンソーシアムのデータが得られないことがわかり、内容的に使用に耐えるものとなる見込みがないため、編集、刊行を見送った。

2) 「医中誌 Web の使い方 (仮題)」の刊行。

医中誌 Web が近く大幅にバージョンアップする計画となり、それに合わせて刊行するのが望ましいため、刊行予定を次年度に延期した。

3) 「図書館員のための統計学入門 (仮題) (JMLA 叢書 4)」の刊行。

年度内刊行は難しくなっているが、著者執筆中。

4) 「図解 PubMed の使い方 改訂第 4 版」の刊行。

年度当初の計画にはなかったが、同書第 3 版刊行以来長期間を経て改版の要望が高まっており、特に、2009 年秋に PubMed が大幅改訂されたため、急遽刊行することとなった。3 月 25 日に発行。

委員会等の開催

平成 21 年度第 1 回出版委員会 4 月 21 日 (水) 日本医学図書館協会中央事務局

「図解 PubMed の使い方 第 4 版 (仮題)」刊行打合せ 11 月 26 日 (木)、12 月 10 日 (木) 日本医学図書館協会中央事務局

3. 理事会 (総会) での協議事項、承認事項

「電子ジャーナル所在目録 (仮称)」の編集について

出版委員会から提案した所蔵データ提出方法について確認した。主に、パッケージ式のものはパッケージ名に各館でチェックを入れるのみで、版元から得たタイトルリストにより、編集段階で自動的に構成タイトル全体に所蔵をつける方向であった。しかし JMLA/JPLA 以外のコンソーシアムについては元データが得られる見込みがないことがわかった。館によっては大部分を JMLA/JPLA 以外で契約している場合もあることから、この方法は有効とはいえなかった。

4. 今後の課題

企画の進行が、著者の執筆の進捗状況等によって、計画より遅れがちである。そのような場合、内容的に時宜を逸するものでないか、もしそうであれば企画の中止も考えられないか等、実務的に検証する体制も必要と思われる。

5. その他

委員の補充、できればそのうえ増員が望まれる。

V. 広報 広報委員会

1. 委 員

担当理事 鈴木 孝明 (奈良)

北川 正路 (慈恵)

委 員 藤沢 靖子 (杏林)

* ホームページ担当ワーキンググループ

担当理事 鈴木 孝明 (奈良)

北川 正路 (慈恵)

委 員 長 川崎 かおる (岩手)

委 員 今林 安雄 (九大)、四釜 禎央 (北療)、西野 正敏 (福井)、

前田 朋彦 (徳島)、藤沢 靖子 (杏林)、森田 奈津子 (慈恵)、

安田 多香子 (愛がん)、善見 尚子 (関西)

2. 活動報告と年間目標の達成状況

- 1) 総務会・渉外担当理事との連携体制の確立
 連携体制の確立には至っていないが、ホームページ更新に関する重要事項についてはメール協議を行った。
- 2) JMLA の諸活動に関する会員間の意見交換の促進
 - ①病院部会のページを新設し、部会活動の紹介を行うとともに参加募集を呼びかける場とした。
 - ②JMLA/JPLA 電子ジャーナル・コンソーシアムの各社提案ページを開設した。
 - ③総会ページを一新し、これまで発行していた総会会議録に代わる情報提供を始めた。
 - ④サイトマップを開設し、各見出しを一覧できるようにした。
 - ⑤要覧 2009 に基づき、委員会情報の更新を行った。
 - ⑥機関誌へホームページの PR を掲載し、会員へホームページ活用を呼びかけた。
 - ⑦80 年記念誌編集委員会のメーリングリストを新規に立ち上げた。
- 3) JMLA の諸活動の会員外への宣伝活動の促進
 ホームページによる活動が主となり、会員外への積極的活動には至っていない。
- 4) JMLA ホームページ管理の効率化
 新規ページの開設が相次いだ各委員への負担がなるべく均等になるよう調整した。
- 5) 委員会の開催
 ホームページ担当ワーキンググループ委員会 第 1 回 平成 21 年 11 月 13 日 (金)
3. 理事会 (総会) での協議事項、承認事項
 特になし。
4. 今後の課題
 広報活動の主な舞台がホームページに偏っており、特に外部に対する活動が積極的に行っていない。
5. その他
 JMLA ロゴを使用した PR グッズ等の作成を検討したいので、商標登録を要するなら早期に実現してほしい。

VI. 雑誌 雑誌委員会

1. 委員
 担当理事 北川 正路(慈恵)
 委 員 江幡 歌奈子 (東邦)、加戸 文子 (阪市)、熊谷 智恵子 (連中)、
 南野 典子 (慶應)
2. 活動報告と年間目標の達成状況
 - 1) 各出版元・代理店とのコンソーシアム契約交渉
 日本薬学図書館協議会(JPLA)雑誌問題検討委員会と協力して、各出版元・代理店との交渉にあたり、2010 年契約内容をまとめた。
 - 2) コンソーシアム説明会の開催
 JPLA との共催で、関東地区と近畿地区で開催した。
 - ・関東地区 (9 月 11 日) (JPLA 雑誌問題検討委員会・本委員会共催)
 (会場: 日本科学未来館みらい CAN ホール) (参加 108 名)
 - ・近畿地区 (9 月 25 日) (近畿地区会主催)
 (会場: 大阪市立大学学術情報総合センター医学分館) (参加 41 名)
 - 3) 他コンソーシアムとの情報交換、協力活動
 公私立大学図書館コンソーシアム (PULC) と共同で Science online (AAAS) との

交渉にあたり、契約を結んだ。

4) 電子ジャーナル普及を考慮した分担購入・分担保存の計画案の作成

平成 19 年度に実施した分担購入・分担保存に関するアンケート調査の集計に基づいて、電子ジャーナルの普及を考慮した分担購入・分担保存のあり方の案をまとめようと試みたが、電子ジャーナル・バックファイルの普及や電子ジャーナル掲載論文の相互貸借利用の今後についての見通しが立たず、具体的な内容とはならなかった。

次年度以降、電子ジャーナルに関して、ドキュメント・デリバリー・サービス、バックファイルの普及、所蔵目録、相互貸借利用に関する今後の動向について調査を実施する。

5) 委員の増員

2名の増員があり、担当理事1名、委員4名の体制で活動を進めた。

3. 理事会（総会）での協議事項、承認事項

特になし

4. 問題点

- ・保健・医療領域を対象とした製品の提案数の増やすように交渉を進める。

平成 22 年度（2010 年）JMLA/JPLA 電子ジャーナル・コンソーシアム参加状況 (2010/4 現在)

1	2	3	4
AAP Pediatrics	AMA JAMA & Archives 9タイトル	AMA JAMA & Archives 6タイトル	AMA JAMA & Archives 3タイトル
15(医: 15 薬: 0)	14(医: 14 薬: 0)	1(医: 1 薬: 0)	4(医: 4 薬: 0)
5	6	7	8
AMA Manual of Style Online	American Chemical Society	Annual Reviews (5点)	Annual Reviews (12点)
3(医: 3 薬: 0)	28(医: 18 薬: 10)	8(医: 3 薬: 5)	22(医: 16 薬: 6)
9	10	11	12
BMJ Journals Online Collection	BioMed Central Faculty of 1000	British Pharmacopeia	Cambridge Journals Online
28(医: 18 薬: 10)	1(医: 0 薬: 1)	(成立せず)	4(医: 1 薬: 3)
13	14	15	16
ebrary	EBSCOhost	EMBO Set	IOP電子ジャーナルパ ッケージ
4(医: 4 薬: 0)	103(医: 82 薬: 21)	79(医: 52 薬: 27)	(成立せず)
17	18	19	20
IOS Press電子ジャーナル コレクション	Informa Healthcare Journal Package	JDream II	Karger Regular Consortium
(成立せず)	3(医: 2 薬: 1)	58(医: 37 薬: 21)	17(医: 17 薬: 0)
21	22	23	24
Karger Hospital Collection	Karger Pay per Download	LWW Fixed 50	LWW Fixed 100
1(医: 1 薬: 0)	1(医: 0 薬: 1)	7(医: 17 薬: 0)	40(医: 38 薬: 2)
25	26	27	28
LWW Dentistry & Anesthesiology	LWW Doody's Book Collection	McGraw-Hill's Access Medicine	NPG(ネイチャー) ジャーナル
1(医: 1 薬: 0)	7(医: 7 薬: 0)	12(医: 12 薬: 0)	102(医: 62 薬: 40)

29	30	31	32
Oxford Journals	Oxford Medical Handbook Online	ProQuest	Rockefeller University Press パッケージ
32(医: 20 薬: 12)	(成立せず)	53(医: 49 薬: 4)	77(医: 48 薬: 29)
33	34	35	36
RSC Journals	RSC アーカイブ	RSC 電子ブック	SAGE
17(医: 2 薬: 15)	1(医: 0 薬: 1)	(成立せず)	(成立せず)
37	38	39	40
Science online	SpringerLink	Taylor & Francis	Thieme 薬学系5タイトル パッケージor個別
73(医: 41 薬: 32)	48(医: 19 薬: 29)	(成立せず)	49(医: 3 薬: 46)
41	42	43	44
Thieme 医学系6タイトル オプション	Thieme 医学系 32タイトルパッケージ	Thieme Science of Synthesis	Thieme Synlett, Synthesisバックファイル
5(医: 1 薬: 4)	4(医: 4 薬: 0)	1(医: 1 薬: 0)	3(医: 0 薬: 3)
45	46	47	48
Wiley-Blackwell	メディカルオンライン	PierOnline	SWETSWise Linker
92(医: 38 薬: 54)	131(医: 92 薬: 39)	8(医: 8 薬: 0)	6(医: 6 薬: 0)
49	50		
SWETSWise Selection Support	RefWorks		
(成立せず)	14(医: 12 薬: 2)		

Ⅶ. 教育・研究

教育・研究委員会

1. 委 員

担当理事 小野澤 繁雄(埼玉)、平 紀子(北療)、小川 禮子(個人)

委員長 諏訪部 直子(杏林)

委員 山田 有希子(東厚年)、牛澤 典子(東邦)、加藤 砂織(東女)、
西村 志保(日医)

2. 活動報告と年間目標の達成状況

1) 基礎研修会標準テキスト「医学図書館員の基礎知識」出版(2009/4)

2) 委員会開催 6回(2009/4/27、7/10、9/9、10/29、2010/1/28、3/17)

日本薬学図書館協議会(JPLA)教育・研究委員会との合同会議開催 1回(7/10)

3) 教育・研究、認定資格事業の連携に関する合同会議開催 4回(2009/7/10、9/9、12/4、2010/3/12)。

4) 「第80回日本医学図書館協会総会・分科会」(2009/7/6)

分科会C(「ヘルスサイエンス情報のプロ育成と発展のために」)を認定資格運営委員会と共同で担当。

5) 「第16回医学図書館員基礎研修会」開催(東北地区、実行委員会事務局 東北大学附属図書館医学分館内)(2009/8/3～5)

テーマ「なぜ、どうして? 医学図書館員のための基礎知識」

参加者数 53名(うちJMLA38名)

6) 「第16回医学図書館研究会・継続教育コース」開催(東海地区、実行委員会事務局)

愛知県がんセンター、愛知学院大学) (2009/11/18～20)

テーマ「もう一度！ライブラリアン」

研究発表演題は、12題(参加者数 60 名、うち JMLA46 名)

継続教育コース 1「情報発信再発見 ～研究発表のウラとオモテ～」(参加者数 58 名、うち JMLA45 名)

①医学図書館員のための論文執筆と学会発表：問題発見から解決に向けて

②論文はどのような過程を経て外国雑誌に掲載されるのか：Online 投稿の過程と図書館の関係

継続教育コース 2「文献検索講習 中級編 ～こわくないシソーラス～」(参加者数 54 名、うち JMLA39 名)

7)「第 6 回情報プロフェッショナルシンポジウム(略称：INFOPRO2009)」(2009/11/14～15、日本科学未来館) 後援に伴って、実行委員 1 名を出した。

8)「第 11 回図書館総合展フォーラム」を JPLA と共催 (2009/11/12、パシフィコ横浜) テーマ「一般市民に向けたがん情報提供サービス」

参加者数 114 名 (うち JMLA33 名、JPLA9 名)

9) 研究助成(応募期間 2009/8/～10/30)および海外研修助成の募集 (2009/3/16～4/20) 研究助成 応募者なし

海外研修助成 応募者 5 名 (助成対象は MLA'09)

全員に助成金を支給したが、1 名は新型インフルエンザの影響で渡航できなかったため、返金された。

10) 鳥取県立図書館受託事業「図書館における医療・健康情報サービス提供のためのスキルアップ講座」(2010/1/13～14) を受託事業委員会と協力して開催。

11) 医学中央雑誌刊行会受託事業「一般の方への医中誌 WEB の提供についての調査」実施 (平成 21 年 10 月～12 月)

国立国会図書館を含む 8 館を対象に訪問調査およびアンケート調査を行った。

12)「専門職能力開発プログラム策定のための調査」を認定資格運営委員会と合同で実施 (平成 22 年 1 月～2 月)

13) 平成 21 年度日本医学図書館協会協会賞・奨励賞選考 (協会賞・奨励賞選考委員会)

14) 北海道医療大学より、当大学が主催する文部科学省委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の平成 21 年度「地域格差のない医療情報提供のための薬剤師・看護師教育プログラム」へ文献情報検索講師の派遣要請があり、ヘルスサイエンス情報専門員 (上級) 資格取得者の会員 3 名を派遣した。

2009/6/27 奥出 麻里 (川鉄)、9/12 河合 富士美 (聖ルカ)、10/3 諏訪部 直子 (杏林)

3. 理事会 (総会) での協議事項、承認事項

1)「専門職能力開発プログラム策定のための調査」のアンケートを会員および関係者を対象に行なうことが承認された。

4. 今後の課題

1) ヘルスサイエンスおよび関連分野の情報サービス専門家に必要な知識と技術の範囲を確定し、協会にふさわしい専門職能力開発プログラムを策定する。

2) 公共図書館における医療・健康情報サービス研修会を継続的に開催するためのワーキンググループを発足し、カリキュラム構築、テキスト出版、企画運営マニュアル作成を行う。

3) 公共図書館における医療・健康情報サービス研修会の講師ができる人材を養成する。

4) 文献検索講習会初級、中級、上級コースのカリキュラムを作成する。

- 5) 教育・研究事業における日本薬学図書館協議会との連携を推進する。
 - 6) 2) と 3) の事業を行う目的で、外部の助成金を申請する。
 - 7) 海外研修事業規程、奨学基金規程の見直し、改定を行う。
5. その他

Ⅷ. 認定資格運営

認定資格運営委員会

1. 委員

担当理事 平 紀子（北療）、小川 禮子（個人）、小野澤 繁雄（埼玉）
 委員長 酒井 由紀子（慶應）
 委員 阿部 潤也（東歯）、佐藤 淑子（東女）、永田 治樹（筑波大）、
 山崎 むつみ（静がん）、山下 ユミ（京府）

2. 活動報告と計画目標の達成状況

1) 委員会の開催

第1回 平成 21 年 6 月 22 日(月) 慶應義塾大学信濃町メディアセンター会議室
 第2回 平成 21 年 9 月 9 日(金) 同上
 第3回 平成 21 年 12 月 7 日(月) 同上
 第4回 平成 21 年 2 月 17 日(水) 同上

2) 認定審査を 2 回実施

第 12 回申請（平成 21 年 7 月受付）
 申請件数 18、認定件数 18（基礎 10、中級 3（新規 2、更新 1）、上級 5（新規 2、更新 3）
 第 13 回申請（平成 22 年 1 月受付）
 申請件数 29、認定件数 28（基礎 19、中級 2（新規 2）、上級 7（新規 1、更新 6））
 不可 1

認定資格保有者 232 名（基礎 158 名、中級 23 名、上級 51 名）平成 22 年 4 月 1 日現在
 広報の充実については、申請募集、認定者数共に増加し進展している。

認定資格運営における効率的な事務処理システムは十分とはいえない状況である。

3) 教育研究委員会との連携推進

昨年度にひきつづき、両委員会の委員長、担当理事による合同会議を開催し、総会
 分科会企画および専門職能力開発プログラム構築に向けた調査を実施した。

合同会議の開催状況

第1回 平成 21 年 7 月 10 日(金) 東京厚生年金病院
 第2回 平成 21 年 9 月 9 日(水) 慶應義塾大学信濃町メディアセンター会議室
 第3回 平成 21 年 12 月 4 日(金) 同上
 第4回 平成 22 年 3 月 12 日(金) 同上

4) 専門職能力開発プログラム構築に向けた調査の実施

合同会議が行った標記調査を、平成 22 年度 2 月 1 日～28 日、Web によるアンケート調査を実施し、171 名からの回答を得た。結果報告は総会、分科会などで行う予定である。

5) 第 80 回総会（分科会 C）の開催

テーマ：「ヘルスサイエンス情報のプロ育成と発展のために」

日 時：平成 21 年 7 月 6 日（月）15:30～17:40、参加者：60 名

座 長：小野澤 繁雄（埼玉医科大学）

話題提供：酒井 由紀子（慶應義塾大学）「ヘルスサイエンス情報のプロに必要な知識とスキル」、永江 学（聖マリアンナ医科大学）「ヘルスサイエンス情報のプロに

期待する知識とスキル：医療職から見た問題点」、諏訪部 直子（杏林大学）

「JMLAの現行プログラムとその評価：ヘルスサイエンス情報のプロ育成と発展のために」、志茂 淳子（和歌山県立医科大学）「大学院プログラムで得られたもの」

3. その他の活動報告

- 1) 内規の改訂
- 2) 広報の拡充（申請募集、認定者の広報、雇用者への呼びかけなど）
- 3) ロジスティクスの整備
 - ①認定証の改訂
 - ②認定番号体系の整備
 - ③認定資格取得者名簿の整備と分担
 - ④物故者の取り扱いについて
 - ⑤「申請の手引き」の大幅改訂
 - ⑥ポイント表の体裁、申請書類の改訂
- 4) 認定資格制度の解説記事の執筆
- 5) 認定資格制度を取り巻く関係の動きの情報収集および情報交換

4. 理事会（総会）における協議事項、承認事項

- 1) 第11回ヘルスサイエンス情報専門員資格認定について
（平成21年4月15日開催 第1回理事会）
- 2) 第12回ヘルスサイエンス情報専門員資格認定について
（平成21年9月10日開催 第3回理事会）
- 3) 認定資格取得者の公開について（平成21年9月10日開催 第3回理事会）
- 4) 認定資格運営委員会の内規の改訂について（平成22年1月27日開催 第4回理事会）
- 5) 教育・研究委員会との合同会議による「専門職能力開発に関するアンケート調査」の実施（平成22年1月27日開催 第4回理事会）
- 6) 第13回ヘルスサイエンス情報専門員資格認定について
（平成22年2月26日 坪内会長代行による承認）

5. 今後の課題

- 1) 効率的な事務処理システムの基盤づくりに向けた、認定申請、審査手続き上の問題点、および認定要件など、制度の根幹に関わる議論についての情報、資料等の記録整備。
- 2) 申請者向け「わかりやすいQ&A」の整備、資格取得者向けの資格活用法の普及、雇用者への呼びかけ、および社会的認知度向上のための多面的な広報活動の充実。
- 3) 認定業務を標準化し、事務局と委員会業務分掌を明確にするための基盤整備。
- 4) 合同会議による「専門職能力開発に関するアンケート調査」の結果を踏まえ、専門職に必要な知識・技能を明確にし、専門職能力開発プログラムの構築を進める中で、認定資格制度の位置づけを明らかにする。協会組織内の合同会議の位置づけを明確にすることが必要となる。

Ⅸ. 受託事業

受託事業委員会

1. 委員

担当理事 坪内 政義（愛医）

委員長 坪内 政義（愛医）

委員 宇野 彰男（北医）、北川 正路（慈恵）、四方田 均（鶴歯）

※診療ガイドラインワーキンググループ

委員長 河合 富士美（聖ルカ）

※鳥取県立図書館「公共図書館員向け研修」ワーキンググループ

リーダー 牛澤 典子（東邦）

2. 活動報告と年間目標の達成状況

1) 診療ガイドライン作成支援－診療ガイドラインワーキンググループ

(1) 受託状況は添付資料（受託診療ガイドライン一覧）を参照のこと。

(2) 文献検索マニュアルの作成。

(3) 文献検索教育プログラム

①中級講習を平成21年11月20日に第16回医学図書館研究会・継続教育コースにて開催。会場は愛知学院大学。受講者54名（JMLA40名、JPLA3名、非会員11名）。

②上級講習を平成22年2月25日、26日にWGリーダーを講師として開催。JSTにて。受講者26名（約半数がWGメンバー）。

(4) リーダー会を1回（平成22年1月25日）開催。

メンバー：阿部 信一（慈恵）、河合 富士美（委員長、聖ルカ）、
諏訪部 直子（杏林）、山口 直比古（東邦）

2) 研修・講義受託事業

(1) 鳥取県立図書館から委託された「図書館における医療・健康情報サービス提供のためのスキルアップ講座」のプログラム作成と研修講師を、ワーキンググループを組織して日本図書館協会健康情報委員会と共同で行った。42名受講。

3) 医学中央雑誌刊行会受託事業

(1) 下記の受託調査・研究を実施した。

①一般の方への医中誌 Web の提供についての調査

平紀子理事（代表者）、諏訪部直子委員長をはじめとする教育・研究委員会

②医中誌の索引対象誌の評価

児玉 関氏（東邦、代表者）をはじめとする調査・研究班。

3. 今後の課題

1) 診療ガイドライン作成支援

受託数が多く、また検索実施期間が短いことが多いため WG 委員の業務負担が増している。事業の運用のために次の措置が必要である。

①メンバーの継続と新規参加により WG 委員を確保する。

②地区の協力体制を充実させる。

③学会等との間で受託契約と作業開始及び終了時期等の調整を行う。

実務面では以下の課題がある。

①検索方法の統一のため、検索マニュアルを作成する。

②WG 委員の検索技術向上のための実践的な教育を行う。

③リーダー間の意見統一を図る。

④学会と検索担当者との連絡書式や対応マニュアルを整備する。

⑤JMLA の仕事に対する学会の評価を得る。

2) 研修・講義受託事業

(1) 鳥取県に続き、公共図書館向けの医療・健康情報研修を各地区で開催する。

(2) 研修プログラムの開発と研修担当者の育成を行い、JMLA 会員のスキルアップにつなげる。

3) 医学中央雑誌刊行会受託事業

(1) 調査・研究方法次第で、担当者あるいは協力者を増員する可能性がある。

	ガイドライン名	学会	連絡先・担当者	検索担当者	委員会出席	備考
1	てんかん治療ガイドライン	日本神経学会		大谷・山口(東邦)、諏訪部(杏林)、山田(東厚年)、山本(東医)		2010.4検索式清書中。
2	多発性硬化症治療ガイドライン	日本神経学会		鈴木(奈良)		2010.4検索式清書提出。終了。
3	GL0801 前十字靭帯(ACL)損傷ガイドライン	日本整形学会	委員長:遠山晴一、事務 局:栗田幹夫	慈恵、愛医	2008.10.24京都(坪内・阿部)、2009.11.5横浜(坪 内・阿部)	
4	GL0802 パーキンソン病治療ガイドライン	日本神経学会	委員長:高橋良輔	東女、高橋(聖隷)、小嶋(個人)	2009.1.10京都(小嶋・河合)、2009.4.12東京(小 嶋・河合)	
5	GL0803 認知症疾患治療ガイドライン	日本神経学会	委員長:中島健二	杏林、東邦、名市、阪市、広島、川崎(岩 手)、山崎(静がん)、小島(信州)、石原 (富山)、大塚(阪大)、中村(個人)、大川 (高知)、岸(川崎)	2009.4.15東京(諏訪部・河合)、2009.8.2前回に同 じ	2010.3検索式清書提出。終了。
6	GL0804 腰部脊柱管狭窄症ガイドライン	日本脊椎骨髄病学会	委員長:高橋和久、事務 局:上村順子	奈良、東厚年	2009.4.24神戸(河合・坪内)、2009.5.15福岡(鈴 木・坪内)、2009.11.6横浜(山田・河合)、2010.2.11東 京(山田・河合)、2010.2.11東京(河合)、2010.4.23高 知(河合・鈴木)、2010.5.29東京	
7	GL0805 甲状腺腫瘍診療ガイドライン	日本甲状腺外科学会・内分泌 外科学会	委員長:吉田明	東邦、東女、山館(岩手)、日医	2009.6.27東京(大谷・山口・河合)、2009.9.26前 回と同じ、2009.12.12東京(大谷・河合)、2010.2.13 前回と同じ、2010.4.11前回に同じ	
8	GL0901 頸椎性骨髄症診療ガイドライン	日本整形外科学会	委員長:加藤義治	東女	なし	
9	GL0902 腎臓診療ガイドライン	日本泌尿器学会	事務局:榎之津(京大)、小 原(岩手医大)、?(学会)	奈良、大川(高知)、川崎(岩手)		
10	GL0903 乳癌診療ガイドライン-薬物療法	日本乳癌学会	委員長:向井博文	慈恵、杏林、小嶋(個人)、山館(岩手)	2009.8.15東京(河合)、2009.12.23河合・阿部、 2010.2.11阿部・諏訪部	終了。
11	GL0904 難治性血管腫・血管奇形診療ガイドライン	厚生労働省科研費	班長:佐々木了、事務局: 木ノ内明(北大)、伊藤恭子 (秘書)	東邦、愛医、阪市、小嶋(個人)、河合	2009.10.3東京(山口・河合)、2009.11.6前回に同 じ、2009.12.15東京(河合)、2010.2.12東京(河合・山 口)、2010.2.23東京(河合・山口)、2010.3.12東京(河 合・山口)	
12	GL0905 乳房再建診療ガイドライン	日本形成学会	委員長:小林誠一郎、事務 局:山田浩子	小島(信州)、山館(岩手)、山崎(静がん)	2009.10.1-2東京(河合)※交通費受領	
13	GL0906 眼窩底骨折診療ガイドライン	日本形成学会	委員長:小林誠一郎、事務 局:山田浩子	東厚年、杏林		
14	GL0907 頬骨骨折診療ガイドライン	日本形成学会	委員長:小林誠一郎、事務 局:山田浩子	関西、阪医、阪齒、リーダー:奈良	2010.1.7関西で打合せ	
15	GL0908 前立腺癌診療ガイドライン	日本泌尿器学会	委員長:平尾佳彦	奈良		
16	GL0909 頬骨骨髄炎診療ガイドライン	日本創傷外科学会	リーダー:大浦紀彦	杏林、川崎(岩手)、山館(岩手)		3月初めに依頼の連絡有り
17	尿路結石診療ガイドライン	日本泌尿器学会	委員長:鈴木孝治	名市		3月初めに依頼の連絡有り
18	骨・関節術後感染予防ガイドライン	日本整形外科学会	委員長:松下和彦			

- (2) 進捗及び結果によって研究年度の延長を医中誌刊行会に申し入れることも検討する。

X. 国立ライフサイエンス情報センター（仮称）推進準備

国立ライフサイエンス情報センター（仮称）推進準備委員会

1. 委員
担当理事 坪内 政義（専務理事・愛医）
委員長 坪内 政義（愛医）
委員 浅井 将行（昭和）、阿部 信一（慈恵）、宇野 彰男（理事・北医）、
北川 正路（理事・慈恵）、澤田 紘子（医師）、成田 俊行（個人）、
四方田 均（理事・鶴歯）
2. 活動報告と年間目標の達成状況
年間目標は下記のとおりだったが、具体的な活動は行わなかった。
 - 1) 「国立医学図書館（仮称）検討委員会最終報告」で挙げられている機能について、会員へのアンケート調査を行って優先度や重点ポイントをまとめる。
 - 2) 関連団体との連携協力、シンポジウムなどの開催、調査研究の実施、国の担当部局とのチャンネルづくりなどに取り組む。
 - 3) ポータルサイト「からだところの情報センター」を継続運営する。
 - 4) 以上の活動を通して、センター館的機能のビジョンとモデルを構築する。
3. 理事会（総会）での協議事項、承認事項
なし
4. 今後の課題
ここ数年、進捗を見ていない。平成 22 年度からの中期重点目標として、本事業の必要性、情報センターの役割や設置目的など、そのビジョンを改めて JMLA 内で明確にする作業に取り組む。

XI. 組織・制度

組織・制度委員会

1. 委員
担当理事 河合 富士美（聖ルカ）
委員長 成田 俊行（個人）
委員 尾崎 聖太郎（麻布）、加藤 恵子（国がん）、作野 誠（愛歯）、
土佐 智義（個人）
2. 活動報告と年間目標の達成状況
 - 1) 委員会を 2009 年 10 月 28 日に開催した。
 - 2) 協会組織につき、一般社団法人への移行も視野に入れ検討を始めた。
 - 3) 平成 4 年 1 月より用いている「規程類の表記の統一についての組織・制度委員会作業方針」を改訂し、協会全体の文書類の表記基準を策定することとした。同時に定款の見直しを行う必要があることを確認した。
 - 4) 「他機関との協力に関する内規」第 2 条（協力の種類及び範囲）について、非典型的協力要請に対しては理事会の判断によるという趣旨の条文に修正することとした。
3. 理事会（総会）での協議事項、承認事項
今年度はすべて委員会内で検討中であり、理事会での審議に至らなかった。
4. 今後の課題

- 1) 協会組織の検討は会員区分の見直しや総会の在り方にも関わる重要な懸案であり、次年度には案をまとめ、理事会に諮る。
 - 2) 今後の委員会において、定款を含めた規程類全体の文言上の見直し、内容的見直しを行うものとする。
5. その他
特になし。

XII . JMLA80 年記念誌刊行編集

JMLA80 年記念誌刊行編集委員会

1. 担当理事 小川 禮子（個人）
委員 長 青木 仕（順天）
委員 浅沼 愛九（東女） 内生蔵 洋子（聖マ） 野坂 美恵子（東医）
藤本 蒂子（東大） 佐々木 裕子（日医）
2. 活動報告と年間目標の達成状況
平成 21 年 11 月 27 日（金）午後 3 時 協会事務局にて第 1 回委員会開催、メーリングリストを作成、各委員の作業分担を決定した。
第 2 回（平成 22 年 1 月 29 日）、第 3 回（2 月 24 日）と委員会を開催、各分担作業の進捗状況、作業上の問題点等調整、今後について審議した。
尚、80 年誌作成では 60 年略史を基にその追補版として 100 年史編纂に向け繋げていくこととした。
また、発行（12 月末頃）、発行部数（機関会員・個人会員、その他 500 部）、予算（概算：印刷等 200 万円程、諸経費等 50 万円程）、形状 A4 等念頭に作業続行中にある。
3. 理事会（総会）での協議事項、承認事項
発行時期（予定）、発行部数、予算等が承認された。
4. 今後の課題
過去 20 年間のデータ収集、活動状況等の資料取得のためから関係者ならびに関係機関への協力依頼をする。
5. その他
特になし。

議題 2 . 平成 21 年度決算報告

I . 収支計算書

NPO法人日本医学図書館協会

平成22年3月31日

1. 収入の部

単位:円

科 目	21年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
会費収入	12,420,000	12,432,000	△ 12,000	
正会員(A)	6,960,000	6,960,000	0	87(未収1、前納1)
正会員(B)	1,680,000	1,720,000	△ 40,000	43
正会員(D)	1,000,000	1,020,000	△ 20,000	103
協力会員	80,000	80,000	0	1
維持会員	2,520,000	2,510,000	10,000	24団体(25口)、3個人(4口)
入会金	180,000	142,000	38,000	
事業収入	17,860,000	16,558,466	1,301,534	
研修会参加費収入	300,000	706,073	△ 406,073	
認定資格審査料	400,000	482,000	△ 82,000	
複写事業費	2,700,000	4,481,200	△ 1,781,200	NLM文献複写
一括購入事業費	650,000	769,465	△ 119,465	図書館年鑑2009
受託事業収入	2,200,000	1,895,988	304,012	
購読料収入(別表1)	7,000,000	3,263,322	3,736,678	
広告料収入(別表2)	4,600,000	4,960,000	△ 360,000	
著作料収入	10,000	418	9,582	
総会費収入(別表3)	1,972,000	2,128,500	△ 156,500	
助成金収入	200,000	200,000	0	
寄付金収入	69,745	89,745	△ 20,000	
雑収入	10,000	2,076	7,924	
小 計	32,531,745	31,410,787	1,120,958	
前年度繰越金	10,945,646	10,945,646	0	
奨学基金繰越金	16,800,076	16,800,076	0	
奨学基金利子	10,600	36,378	△ 25,778	
合 計	60,288,067	59,192,887	1,095,180	

(別表1) 購読料収入

単位:円

科 目	21年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
医学図書館56巻57巻	2,500,000	1,882,700	617,300	
現行医学雑誌所在目録2008	1,000,000	52,000	948,000	
要覧2009	10,000	0	10,000	
図解PubMedの使い方第3版	200,000	343,422	△ 143,422	
NLM分類法	340,000	255,000	85,000	
NLMコレクション構築マニュアル	600,000	172,000	428,000	
医学図書館員の基礎知識	100,000	386,000	△ 286,000	基礎研修会テキスト
医中誌Webの使い方	1,600,000	0	1,600,000	
図書館員のための統計学入門	600,000	0	600,000	
その他	50,000	172,200	△ 122,200	加盟館統計・叢書等
合 計	7,000,000	3,263,322	3,736,678	

(別表2) 広告料収入

単位:円

科 目	21年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
医学図書館広告料収入		1,560,000	△ 1,560,000	
総会展示出展料収入		2,820,000	△ 2,820,000	
総会資料広告料収入		580,000	△ 580,000	
計	4,600,000	4,960,000	△ 360,000	

(別表3) 総会費収入

単位:円

科 目	21年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
参加費収入	1,179,000	1,210,000	△ 31,000	
交流会費収入	593,000	731,000	△ 138,000	
弁当代収入	200,000	187,500	12,500	
計	1,972,000	2,128,500	△ 156,500	

2. 支出の部

単位:円

科 目	21年度予算額	21年度決算額	残 高	備 考
事業費	19,251,000	16,392,327	2,858,673	
教育研究費	1,950,000	1,426,311	523,689	
協会賞	100,000	100,000	0	
奨励賞	100,000	50,000	50,000	
基礎研修会	500,000	556,811	△ 56,811	
継続・研究会	700,000	700,000	0	
アンケート調査費用	150,000	0	150,000	
地区研修助成	400,000	19,500	380,500	
複写事業費	2,100,000	3,624,285	△ 1,524,285	
一括購入事業費	450,000	558,600	△ 108,600	図書館年鑑2009
受託事業費	2,000,000	1,805,846	194,154	
出版事業費(別表4)	9,107,000	6,216,813	2,890,187	
編集費	2,352,000	1,320,000	1,032,000	
印刷費	6,755,000	4,896,813	1,858,187	
認定資格審査経費	210,000	90,260	119,740	
会議費	111,000	104,435	6,565	
旅費・交通費(別表5)	2,123,000	1,773,072	349,928	
通信運搬費	850,000	641,292	208,708	
渉外費	350,000	151,413	198,587	
管理費	16,716,000	13,674,159	3,041,841	
地区会運営費	231,000	70,227	160,773	
会議費	70,000	219,284	△ 149,284	
旅費・交通費(別表5)	2,050,000	1,855,540	194,460	
総会費(別表6)	6,325,000	3,874,652	2,450,348	
事務費	1,520,000	1,302,199	217,801	
消耗品費	450,000	401,968	48,032	
備品費	0	0	0	
機器賃借料	520,000	514,153	5,847	ファックス、電話機賃借料
通信運搬費	520,000	336,613	183,387	
雑費	30,000	49,465	△ 19,465	
借室費	1,060,000	1,033,331	26,669	中央事務局家賃・光熱費
人件費	5,100,000	5,037,926	62,074	
給料及び諸手当	4,700,000	4,726,165	△ 26,165	
福利厚生費	400,000	311,761	88,239	
税務監査・労務士関係費	210,000	210,000	0	税理士
租税公課	150,000	71,000	79,000	法人税、印紙代
小 計	35,967,000	30,066,486	5,900,514	
予備	0	0		
次期繰越金	7,510,391	12,289,947	△ 4,779,556	
奨学基金(別表7)	452,000	200,000	252,000	
奨学基金次期繰越	16,358,676	16,636,454	△ 277,778	
合 計	60,288,067	59,192,887	1,095,180	

(別表4) 出版事業費

単位:円

科 目	21年度予算額	21年度決算額	残 高	備 考
編集費	2,352,000	1,320,000	1,032,000	
医学図書館56巻	1,130,000	924,384	205,616	
機関誌編集校正システム運用費	240,000	239,400	600	
現行医学雑誌所在目録2009	450,000	0	450,000	
NLMコレクション構築マニュアル	100,000	13,889	86,111	
医学図書館員の基礎知識	100,000	38,885	61,115	基礎研修会テキスト
図書館員のための統計学入門	100,000	0	100,000	
医中誌Webの使い方	100,000	0	100,000	
総会会議録 80回	32,000	90,667	△ 58,667	
JMLA記念誌準備費	100,000	12,775	87,225	
印刷費	6,755,000	4,896,813	1,858,187	
医学図書館56	3,000,000	3,227,028	△ 227,028	各号1500部
現行医学雑誌所在目録2009	300,000	0	300,000	
会員名簿	190,000	262,500	△ 72,500	
要覧2009	225,000	197,400	27,600	
NLMコレクション構築マニュアル	430,000	539,700	△ 109,700	500部
NLM分類法	200,000	0	200,000	
図解PubMedの使い方第3版	140,000	135,000	5,000	
医学図書館員の基礎知識	500,000	399,000	101,000	700部 基礎研修会テキスト
図書館員のための統計学入門	450,000	0	450,000	
医中誌Webの使い方	1,000,000	0	1,000,000	
総会会議録 80回	220,000	7,560	212,440	
加盟館統計 80次	100,000	128,625	△ 28,625	
合 計	9,107,000	6,216,813	2,890,187	

(別表5) 旅費・交通費(事業費+管理費)

単位:円

科 目	21年度予算額	21年度決算額	残 高	備 考
事業費	2,123,000	1,773,072	349,928	
組織・制度	160,000	75,900	84,100	
出版	15,000	127,350	△ 112,350	
編集	300,000	286,600	13,400	
教育・研究	300,000	337,972	△ 37,972	
認定資格運営	500,000	443,950	56,050	
企画・調査	210,000	199,700	10,300	
国立ライフ(仮称)推進準備	140,000	0	140,000	
ホームページWG	270,000	258,500	11,500	
雑誌	130,000	39,900	90,100	
広報	40,000	0	40,000	
受託	50,000	0	0	
協会賞・奨励賞	8,000	3,200	4,800	
管理費	2,050,000	1,855,540	194,460	
理事会・評議員会、総務会他	1,650,000	1,743,800	△ 93,800	
総会運営経費	400,000	111,740	288,260	
合 計	4,173,000	3,628,612	544,388	

(別表6) 総会費

単位:円

科 目	21年度予算額	21年度決算額	残 高	備 考
会場施設使用料	3,000,000	594,200	2,405,800	
会場施設備品使用料	0	0	0	
会場設営費	0	1,087,202	△ 1,087,202	
交流会費	2,000,000	708,103	1,291,897	
昼食弁当代	375,000	362,500	12,500	
謝金、交通費	200,000	324,514	△ 124,514	
通信運搬費	50,000	64,435	△ 14,435	
印刷製本費	250,000	406,875	△ 156,875	
組織委員会経費	350,000	217,881	132,119	
雑費	100,000	108,942	△ 8,942	
合 計	6,325,000	3,874,652	2,450,348	

(別表7) 奨学基金

単位:円

科 目	21年度予算額	21年度決算額	残 高	備 考
海外研修	250,000	200,000	50,000	
研究研修助成	200,000	0	200,000	
振り込み手数料	2,000	0	2,000	
合 計	452,000	200,000	252,000	

II. 平成21年度貸借対照表

NPO法人日本医学図書館協会

平成22年3月31日

単位：円

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
(經常経費)			
現 金	12,341	繰越金	1,344,301
普通預金	2,695,079	前年度繰越金	10,945,646
普通預金2	4,611,522		
郵便貯金	70,485		
振替貯金	4,900,520		
(小 計	12,289,947)	(小 計	12,289,947)
(奨学基金)			
普通預金	3,619,154	繰越金	16,636,454
定期預金	13,017,300		
(小 計	16,636,454)	(小 計	16,636,454)
計	28,926,401	計	28,926,401

財 産 推 移 表＜過去5年間＞

NPO法人日本医学図書館協会
平成22年3月31日

＜運営資金＞

単位：円

科目\年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
現金	12,341	77,671	72,568	24,186	52,131
普通預金	2,693,912	4,721,079	2,747,945	2,031,314	2,009,787
普通預金2	4,610,665	1,581,000	0	0	0
郵便貯金	70,433	70,208	100,001	200,001	20,001
振替貯金	4,900,520	4,484,545	5,341,354	4,525,921	3,742,228
利子	2,076	11,143	12,252	1,657	0
運営資金合計	12,289,947	10,945,646	8,274,120	6,783,079	5,824,147

＜奨学基金＞

科目\年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
普通預金	3,595,593	3,790,584	3,780,125	3,773,845	3,773,845
定期預金	13,004,483	13,004,483	13,004,483	13,004,483	13,000,000
利子	36,378	5,009	10,459	6,280	0
奨学基金合計	16,636,454	16,800,076	16,795,067	16,784,608	16,773,845

平成 21 年度監査報告

平成 21 年度NPO法人日本医学図書館協会監査報告

1. 日 時 平成 22 年 4 月 9 日(金)午後 1 時 30 分～午後 4 時
2. 場 所 NPO法人日本医学図書館協会 中央事務局
3. 監査対象 平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日
4. 監査結果

元帳、金銭出納帳、諸帳票類、預金通帳および関係書類などを監査した結果、いずれも正確に執行されていることを認めた。また、法人の業務の執行に関しては法令および定款に違反する重大な事実はないと認めた。

5. 監査所見

平成 21 年度は、法人経営の柱となるべき収入面での事業収入の伸びがやや鈍く一層の事業展開が望まれる。また、広告料収入などのより多角的な収入源の拡大ならびに受託事業等のさらなる財政基盤確立を要望する。

監 事

日本歯科大学

中原レチ子



和歌山県立医科大学

南方 政英



議題 3. 平成 22 年度事業計画（案）

I. 総務会・渉外

1. 年間目標
 - 1) 平成 22 年度～平成 24 年度中期重点事業（目標）に着手する。
（総会資料 56p. 参照）
 - 2) 他機関交流
図書館関連団体、その他の団体との交流及び連携を維持、発展させる。
 - 3) 海外交流
韓国医学図書館協議会、その他との交流を推進する。
 - 4) 会員の増加促進
会員の権利と義務を明確に広報し、協会活動に対する理解を得る。
 - 5) 80 年記念誌の刊行（総会資料 36, 49p. 参照）
 - 6) 評議員会の開催
定例評議員会のほか、会長の諮問に応じて評議員会を開催する。
 - 7) 地区会事務局連絡会議の開催
年度内に 1 回開催を予定、協会の事業や運営について意見交換する。
 - 8) その他、個々の活動については各事業を参照のこと。
2. 総務会開催予定
年度中に 6 回開催予定。

II. 企画・調査

1. 活動計画と年間目標
 - 1) 「第 81 次加盟館年次統計」の発行
 - ① 6 月 データ提出依頼
 - ② 9 月 ホームページ版の発行
 - 2) 「第 61 回重複雑誌交換事業」
 - ① 7 月 データ提出
 - ② 10 月 協会ホームページに重複交換データを掲載
 - ③ 12 月 交換
 - ④ 1 月 実績報告書提出
 - 3) 「要覧 2010」の発行
 - ① 4・7 月 原稿提出依頼
 - ② 9 月 発行（印刷版、ホームページ版）
2. 委員会の開催
 - 第 1 回 7 月 年間事業計画の策定と実施内容の調整
 - 第 2 回 11 月 進捗状況の確認と各種審議
 - 第 3 回 3 月 当該年度のまとめと改善事項の検討

III. 機関誌「医学図書館」編集

1. 活動計画と年間目標
 - 1) 機関誌の定時発行（発行予定：57 巻 2 号から 58 巻 1 号）

- 2) 委員会の年4回開催
2. 理事会（総会）での協議事項、承認事項
3. 今後の課題
任満了に伴う委員の速やか交代及び引継ぎ体制の確立。

IV. 出版

1. 活動計画と年間目標
 - 1) 「JMLA 相互貸借便覧 2010 (仮題)」の刊行
 - 2) 「医中誌 Web の使い方 (仮題)」の刊行。
 - 3) 「図書館員のための統計学入門 (仮題) (JMLA 叢書 4)」の刊行。
2. 理事会（総会）での協議事項、承認事項
「電子ジャーナル所在目録 (仮称)」の刊行について
2008 年度版で刊行を中止した「現行医学雑誌所在目録」に代わるものとして「現行電子ジャーナル所在目録」を検討していたが、現状では NII との関わりもあり慎重に検討する必要があるため、とりあえず要望の多い「相互貸借便覧」部分のみの刊行を考える。
3. 今後の課題
企画から出版までは相当の期間を要するため、次の企画を検討する必要がある。
その他
委員の補充、できればそのうえ増員が望まれる。

V. 広報

1. 委 員
ホームページ担当ワーキンググループ委員の交替
(平成 22 年 6 月～)

・九州・沖縄地区	今林 安雄 (九 大)	→	小柳 貴俊 (九 大)
・東海地区	安田多香子 (愛がん)	→	富田 一文 (愛 歯)
・北信越地区	西野 正敏 (福 井)	→	中越 晴彦 (松 歯)
・近畿地区	善見 尚子 (関 西)	→	中西 綾 (和 歌)
・中国・四国地区	前田 朋彦 (徳 島)	→	山田 智美 (岡 山)
2. 活動計画と年間目標
 - 1) JMLA 諸活動の会員外への宣伝活動の積極的展開
 - 2) JMLA ホームページのアクセシビリティの強化
3. 理事会（総会）での協議事項、承認事項
4. その他

VI. 雑誌

1. 事業計画（目標）
 - 1) 日本薬学図書館協議会(JPLA)雑誌問題検討委員会と合同で、各出版元・代理店とのコンソーシアム契約交渉を進め、9 月上旬をめどとして、各出版元・代理店と 2011 年契約交渉をまとめる。
 - 2) 保健・医療領域を対象とした製品の提案数を増やすように交渉を進める。
 - 3) 他コンソーシアムとの情報交換、協力活動を図る。

- 4) コンソーシアム説明会開催の継続が必要であることを確認し、継続して開催する場合、説明内容、進行順、開催時期、開催回数、開催場所に関しての方針を立てる。
 - 5) 電子ジャーナル普及の現状を考慮した分担購入・分担保存のあり方に関する調査を実施する。
2. 委員会等の開催予定
- 1) 平成 22 年 9 月 第 1 回委員会
 - 2) 平成 23 年 3 月 第 2 回委員会
- JPLA 雑誌問題検討委員会との合同委員会を同時開催予定。

VII. 教育・研究

1. 活動計画と年間目標
- 1) 委員会 6 回、JPLA 合同委員会 1 回 開催
 - 2) 教育・研究、認定資格事業との連携に関する合同会議開催 2～3 回
 - 3) 「第 81 回総会・分科会」開催
 - 4) 「第 17 回医学図書館員基礎研修会」開催（北信越地区）
 - 5) 「第 17 回医学図書館研究会・継続教育コース」開催（関東地区）
 - 6) 「第 7 回情報プロフェッショナルシンポジウム（略称：INFOPRO2010）」後援
 - 7) 「第 12 回図書館総合展フォーラム」JPLA と共催
 - 8) 研究助成および海外研修助成の募集
 - 9) 公共図書館向け医療・健康情報サービス研修会プログラム開発、講師養成
 - 10) 医中誌受託事業「一般の方への医中誌 WEB の提供についての調査」
 - 11) 「専門能力開発プログラム策定のための調査」報告書作成
 - 12) ヘルスサイエンスおよび関連分野の情報サービス専門家に必要な知識と技術の範囲の検討および教育大綱の原案策定
 - 13) 日本薬学図書館協議会との教育・研究事業連携推進ワーキンググループ合同会議開催 3 回
 - 14) 文献検索講習会のカリキュラム作成
 - 15) 教育プログラムマニュアル改訂
 - 16) 平成 22 年度日本医学図書館協会 協会賞・奨励賞選考（協会賞・奨励賞選考委員会）
 - 17) 文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」委託事業 北海道医療大学主催平成 22 年度「地域格差のない医療情報提供のための薬剤師・看護師教育プログラム」文献検索講師派遣
2. 理事会（総会）での協議事項、承認事項
- 1) 公共図書館のための医療・健康情報サービス研修会ワーキンググループを発足させる件。
 - 2) 認定資格運営委員会との連携を継続し、専門職能力開発プログラムを構築するために、合同会議の名称、メンバー、役割、設定期間を決め、予算措置をもつ組織体として位置づけを明確にする件。
3. 今後の課題
- 1) 委員会の活動が多岐にわたり業務量が多いので、委員を増やしたい。
 - 2) 文献検索講習会のプログラム作成で受託事業委員会と連携を行う必要がある。
 - 3) 認定資格運営委員会との連携を継続し、合同会議による「専門職能力開発に関するアンケート調査」の結果を踏まえ、専門職能力開発プログラム構築の中で、専門職に

必要な知識と技能を明確にし、認定資格制度の位置づけを明らかにしていく。そのためには、現在、不明確な合同会議の協会内での位置づけを確立する必要がある。

4. その他

Ⅷ. 認定資格運営

1. 年間目標

- 1) 年 2 回の認定審査や関連する活動に際し、認定申請、審査の手続上の問題点、および認定要件など、制度の根幹に関わる議論について、継続性を踏まえた情報や資料の整備を行う。
- 2) 認定資格申請者向け「わかりやすい Q & A」の整備、資格取得者向けの資格活用法の普及、および雇用者への呼びかけなどを継続する。また、資格の社会的認知度向上のためのプロモーショングッズの作成など、多面的な広報活動を推進する。
- 3) 認定資格運営に関わる業務の標準化、当委員会、事務局間の業務分掌を明確にするための明文化など、円滑な運用に向けた基盤整備を進める。
- 4) 教育・研究、認定資格事業の連携に関する合同会議が行った「専門職能力開発に関するアンケート調査」の結果を踏まえ、専門職能力開発プログラム構築を進める中で、専門職に必要な知識と技能を明確にすると共に、認定資格制度の位置づけを明確にする。
- 5) 総会分科会において「専門職能力開発に関するアンケート調査」の結果を公開すると共に、具体的な提言をベースにした議論を促進させる。
- 6) 教育研究委員会と連携の下、専門職能力開発プログラムの構築に向けて、仮称；専門職能力開発プログラム推進委員会の臨時的設置の是非について早期に検討し、当委員会の設置期間、役割などを明確にし、予算措置をもつ組織体として位置づける。

2. 平成 22 年度認定申請募集と認定資格運営委員会の開催予定

- 1) 申請募集時期：平成 22 年 7 月、平成 23 年 1 月の 2 回
- 2) 認定資格運営委員会の開催（認定審査作業を含む年 4 回）

3. 教育・研究、認定資格運営委員会の連携事業

- 1) 仮称；専門職能力開発プログラム推進委員会の開催（認定資格運営委員長、教育研究委員長、担当理事）（年 2 ～ 3 回）
- 2) 第 81 回総会分科会「キャリア開発と人材育成」の開催（5 月）

Ⅸ. 受託事業

1. 活動計画と年間目標

1) 診療ガイドライン作成支援

事業を継続し、いっそう各学会の信頼が得られるよう努める。平成 21 年度の課題を解決することが目標である。

(1) 事業の運用のために次の措置を講じる。

- ①メンバーの継続と新規参加により WG 委員を確保する。
- ②地区の協力体制を充実させる。
- ③学会等との間で受託契約と作業開始及び終了時期等の調整を行う。

(2) 実務面では次の各項を実施する。

- ①検索方法の統一のため、検索マニュアルを作成する。
- ②WG 委員の検索技術向上のための実践的な教育を行う。

- ③リーダー間の意見統一を図る。
- ④学会と検索担当者の間の連絡書式や対応マニュアルを整備する。
- ⑤JMLAの仕事に対する学会の評価を得る。
- 2) 研修・講義受託事業
 - (1) 一般市民への健康情報提供サービス支援に向けた研修プログラムを構築する。
 - (2) 教育・研究委員会との連携を図る。
 - (3) 日本図書館協会(JLA)との連携を図る。
 - (4) 以上、医療・健康情報支援をJMLAの基幹事業に位置付ける。
- 3) その他、関連団体からの受託事業など
 - (1) 医学中央雑誌刊行会の受託調査研究について、平成21年度の進捗状況及び結果によっては研究年度の延長を申し入れる。
 - (2) 各種団体から事業委託の申し入れがあった場合は積極的に応じて行く。

X. 国立ライフサイエンス情報センター（仮称）推進準備

- 1. 活動計画と年間目標

平成22年度からの中期重点目標として、本事業の必要性、情報センターの役割や設置目的など、そのビジョンを改めてJMLA内で明確にする作業に取り組む。

同時に、下記のとおり、平成21年度以前からの活動を継続する。まずは、ポータルサイト「からだところの情報センター」の充実を図ることが先決と思われる。

 - 1) 「国立医学図書館（仮称）検討委員会最終報告」で挙げられている機能について、優先度や重点ポイントをまとめる。
 - 2) 関連団体との連携協力、調査研究、国の担当部局とのチャンネル作りを行う。
 - 3) ポータルサイト「からだところの情報センター」を継続運営する。
 - 4) 以上の活動を通して、センター館的機能のビジョンとモデルを構築する。

XI. 組織・制度

- 1. 活動計画と年間目標
 - 1) 年間目標
 - ①理事会付託事項について検討し、答申あるいは提案を行う。
 - ②平成21年度からの継続検討課題
 - a. 協会の組織改革案を検討する。
 - b. 定款を含めた規程類全体の文言上の見直し、内容の見直しを行う。
 - c. 「規程類の表記の統一についての組織・制度委員会作業方針」を改訂して協会の規程類作成指針とする。
 - 2) 委員会の開催予定

概ね理事会や総務会の開催日程にあわせて、年度内に2～3回開催する。

XII. JMLA80年記念誌刊行編集

- 1. 活動計画と年間目標
 - 5月末日までに基礎資料の収集、目次の構成を決定する。
 - 6月下旬 依頼原稿発送（加盟館、会友を中心とした退職図書館員）
 - 7月末日 原稿締め切り

8月 原稿督促

9月 原稿校正

12月末 刊行予定

2. 理事会（総会）での協議事項、承認事項

【刊行案】

刊行予定：12月末

刊行部数：500部（機関会員＆個人 250部、その他 250部）

予算概要：250万円（印刷・製本・配布等 200万円、諸経費 50万円

記念誌はA4版を想定している。

3. 今後の課題

依頼原稿の回収状況

4. その他

総ページ数は現段階では未定である。

議題 4 . 平成 22 年度予算（案）

I . 収支計算書

NPO法人日本医学図書館協会

平成22年4月8日

1. 収入の部

単位:円

科 目	22年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
会費収入	12,390,000	12,432,000	△ 42,000	
正会員(A)	6,960,000	6,960,000	0	87
正会員(B)	1,720,000	1,720,000	0	43
正会員(D)	1,030,000	1,020,000	10,000	103
協力会員	80,000	80,000	0	1
維持会員	2,420,000	2,510,000	△ 90,000	23団体(24口)、3個人(4口)
入会金	180,000	142,000	38,000	
事業収入	16,870,000	16,558,466	311,534	
研修会参加費収入	300,000	706,073	△ 406,073	
認定資格審査料	400,000	482,000	△ 82,000	
複写事業費	4,500,000	4,481,200	18,800	NLM文献複写
一括購入事業費	800,000	769,465	30,535	図書館年鑑2010
受託事業収入	2,000,000	1,895,988	104,012	
購読料収入(別表1)	4,520,000	3,263,322	1,256,678	
広告料収入(別表2)	4,340,000	4,960,000	△ 620,000	
著作料収入	10,000	418	9,582	
総会費収入(別表3)	1,800,000	2,128,500	△ 328,500	
助成金収入	200,000	200,000	0	
寄付金収入	50,000	89,745	△ 39,745	
雑収入	10,000	2,076	7,924	
小 計	31,320,000	31,410,787	△ 90,787	
前年度繰越金	12,289,947	10,945,646	1,344,301	
奨学基金繰越金	16,636,454	16,800,076	△ 163,622	
奨学基金利子	40,000	36,378	3,622	
合 計	60,286,401	59,192,887	1,093,514	

(別表1) 購読料収入

単位:円

科 目	22年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
医学図書館57巻58巻	2,000,000	1,882,700	117,300	
現行電子J所在目録2010	100,000	52,000	48,000	
図解PubMedの使い方第3,4版	1,200,000	343,422	856,578	
NLM分類法	300,000	255,000	45,000	
NLMコレクション構築マニュアル	60,000	172,000	△ 112,000	
医学図書館員の基礎知識	200,000	386,000	△ 186,000	基礎研修会テキスト
図書館員のための統計学入門	100,000	0	100,000	
その他	50,000	172,200	△ 122,200	加盟館統計・叢書・要覧等
合 計	4,010,000	3,263,322	746,678	

(別表2) 広告料収入

単位:円

科 目	22年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
医学図書館広告料収入	1,480,000	1,560,000	△ 80,000	
総会展示出展料収入	2,800,000	2,820,000	△ 20,000	
総会資料広告料収入	600,000	580,000	20,000	
計	4,880,000	4,960,000	△ 80,000	

(別表3) 総会費収入

単位:円

科 目	22年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
分科会参加費収入	700,000	1,210,000	△ 510,000	
交流会費収入	800,000	731,000	69,000	
弁当代収入	270,000	187,500	82,500	
雑収入	30,000	0	0	
計	1,800,000	2,128,500	△ 358,500	

2. 支出の部

単位:円

科 目	22年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
事業費	21,468,000	16,392,327	5,075,673	
教育研究費	1,950,000	1,426,311	523,689	
協会賞	100,000	100,000	0	
奨励賞	100,000	50,000	50,000	
基礎研修会	500,000	556,811	△ 56,811	
継続・研究会	700,000	700,000	0	
アンケート調査費用	150,000	0	150,000	
地区研修助成	400,000	19,500	380,500	
健康情報支援事業費	400,000	0	400,000	
複写事業費	3,500,000	3,624,285	△ 124,285	
一括購入事業費	450,000	558,600	△ 108,600	図書館年鑑2010
受託事業費	2,000,000	1,805,846	194,154	
出版事業費(別表4)	9,997,000	6,216,813	3,780,187	
編集費	4,252,000	1,320,000	2,932,000	
印刷費	5,745,000	4,896,813	848,187	
認定資格審査経費	210,000	90,260	119,740	
会議費	111,000	104,435	6,565	
旅費・交通費(別表5)	1,650,000	1,773,072	△ 123,072	
通信運搬費	850,000	641,292	208,708	
渉外費	350,000	151,413	198,587	
管理費	13,974,000	13,674,159	299,841	
地区会運営費	231,000	70,227	160,773	
部会運営費	100,000	0	100,000	
会議費	220,000	219,284	716	
旅費・交通費(別表5)	2,163,000	1,855,540	307,460	
総会費(別表6)	2,920,000	3,874,652	△ 954,652	
事務費	1,820,000	1,302,199	517,801	
消耗品費	450,000	401,968	48,032	
備品費	100,000	0	100,000	
機器賃借料	520,000	514,153	5,847	ファックス、電話機賃借料
通信運搬費	520,000	336,613	183,387	
製本費	100,000	0	100,000	中央事務局資料の製本
協会パンフレット	100,000	0	100,000	
雑費	30,000	49,465	△ 19,465	
借室費	1,060,000	1,033,331	26,669	中央事務局家賃・光熱費
人件費	5,100,000	5,037,926	62,074	
給料及び諸手当	4,700,000	4,726,165	△ 26,165	
福利厚生費	400,000	311,761	88,239	
税務監査・労務士関係費	210,000	210,000	0	税理士
租税公課	150,000	71,000	79,000	法人税、印紙代
小 計	35,442,000	30,066,486	5,375,514	
予備	0	0	0	
次期繰越金	8,167,947	12,289,947	△ 4,122,000	
奨学基金(別表7)	452,000	200,000	252,000	
奨学基金次期繰越	16,224,454	16,636,454	△ 412,000	
合 計	60,286,401	59,192,887	1,093,514	

(別表4) 出版事業費

単位:円

科 目	22年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
編集費	4,252,000	1,320,000	2,932,000	
医学図書館57巻	1,130,000	924,384	205,616	
機関誌編集校正システム運用費	240,000	239,400	600	
現行電子J所在目録2010	150,000	0	150,000	
NLMコレクション構築マニュアル	0	13,889	△ 13,889	
医学図書館員の基礎知識	0	38,885	△ 38,885	基礎研修会テキスト
図書館員のための統計学入門	100,000	0	100,000	
医中誌Webの使い方	100,000	0	100,000	
総会会議録 81回	32,000	90,667	△ 58,667	
JMLA記念誌準備費	2,500,000	12,775	2,487,225	
印刷費	5,745,000	4,896,813	848,187	
医学図書館57巻	3,000,000	3,227,028	△ 227,028	57巻 各号1500部
現行電子J所在目録2010	100,000	0	100,000	
会員名簿	265,000	262,500	2,500	
要覧2010	200,000	197,400	2,600	
NLMコレクション構築マニュアル	0	539,700	△ 539,700	
NLM分類法	200,000	0	200,000	
図解PubMedの使い方4版	850,000	135,000	715,000	2500 部
医学図書館員の基礎知識	0	399,000	△ 399,000	
図書館員のための統計学入門	450,000	0	450,000	
医中誌Webの使い方	500,000	0	500,000	
総会会議録 81回	50,000	7,560	42,440	
加盟館統計 81次	130,000	128,625	1,375	
合 計	9,997,000	6,216,813	3,780,187	

(別表5) 旅費・交通費(事業費+管理費)

単位:円

科 目	22年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
事業費	2,163,000	1,773,072	389,928	
組織・制度	80,000	75,900	4,100	
出版	15,000	127,350	△ 112,350	
編集	300,000	286,600	13,400	
教育・研究	350,000	337,972	12,028	
認定資格運営	450,000	443,950	6,050	
企画・調査	200,000	199,700	300	
国立ライフ(仮称)推進準備	150,000	0	150,000	
ホームページWG	270,000	258,500	11,500	
専門職能力開発プロ	200,000	0	200,000	
雑誌	50,000	39,900	10,100	
広報	40,000	0	40,000	
受託	50,000	0	0	
協会賞・奨励賞	8,000	3,200	4,800	
管理費	1,650,000	1,855,540	△ 205,540	
理事会・評議員会、総務会他	1,650,000	1,743,800	△ 93,800	
総会運営経費	0	111,740	△ 111,740	
合 計	3,813,000	3,628,612	184,388	

(別表6) 総会費

単位:円

科 目	22年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
会場施設使用料	500,000	594,200	△ 94,200	
会場施設備品使用料	50,000	0	50,000	
会場設営費	150,000	1,087,202	△ 937,202	
交流会費	800,000	708,103	91,897	
昼食弁当代	270,000	362,500	△ 92,500	
謝金、交通費	300,000	324,514	△ 24,514	
通信運搬費	50,000	64,435	△ 14,435	
印刷製本費	350,000	406,875	△ 56,875	
組織委員会経費	350,000	217,881	132,119	
雑費	100,000	108,942	△ 8,942	
合 計	2,920,000	3,874,652	△ 954,652	

(別表7) 奨学基金

単位:円

科 目	22年度予算額	21年度決算額	増 減	備 考
海外研修	250,000	200,000	50,000	
研究研修助成	200,000	0	200,000	
振り込み手数料	2,000	0	2,000	
合 計	452,000	200,000	252,000	